

## 第2回地元協議会施設見学会

1 開催日 平成22年9月29日(水)

2 視察先

(1) 多摩川清掃工場

(2) 品川清掃工場

3 委員参加者 15名

4 施設の概要

(1) 多摩川清掃工場

- 工場規模 300 t/日  
(ストーカ炉150 t/日×2炉)  
(灰溶融炉30 t/日×1炉)
- 敷地面積 32,150㎡
- 工場棟 既存 地上8階、地下1階 高さ31m  
増築 地上7階、地下1階
- 煙突 高さ 約100m
- 建設工事費 156億円

(2) 品川清掃工場

- 工場規模 600 t/日  
(ストーカ炉300 t/日×2炉)  
(灰溶融炉180 t/日・90 t×2炉)
- 敷地面積 46,700㎡
- 工場棟 鉄筋コンクリート造 高さ36m
- 煙突 高さ 約90m
- 建設工事費 275億円

5 事前質問に対する回答

(1) 地元協議会について

- ・公害防止など地元住民との協定があるか、
- ・協議会の構成、開催回数
- ・周辺住民の健康管理に配慮していることはあるか。(例えば定期健康診断)

① 多摩川清掃工場

- ・協定書:「多摩川清掃工場の操業に関する協定書」
- ・構成:自治会・町会、大田区、一組の3者
- ・回数:年1回

② 品川清掃工場

地元協議会はない。

(2) 情報公開について

- ・定期的実績報告書
- ・広報誌、電光掲示板

- ・モニタリングに関する住民の参加度合い。(例えば、定期的な視察、立会)

① 多摩川清掃工場

- ・実績報告：多摩川清掃工場環境報告書、清掃工場等作業年報、清掃事業年報、事業概要
- ・広報誌、電光掲示板：多摩川清掃工場だより、電光掲示板（車両出入口に設置）、ホームページで環境測定データ（SO<sub>x</sub>、NO<sub>x</sub>、HCL、ばいじん）公表
- ・モニタリング：特になし。

② 品川清掃工場

- ・実績報告：品川清掃工場環境報告書、清掃工場等作業年報、清掃事業年報、事業概要
- ・広報誌、電光掲示板：品川清掃工場だより、電光掲示板（工場通用門に設置）、ホームページで環境測定データ（SO<sub>x</sub>、NO<sub>x</sub>、HCL、ばいじん）公表
- ・モニタリング：特になし。

(3) 突発的な事故対応

- ・過去数年の運転事故の回数と内容(実績)
- ・周辺住民補償（規定はあるか、行われたことはあるか。）

① 多摩川清掃工場

- ・各年度の故障、事故件数  
平成 18 年度 故障 1 件  
平成 19 年度 故障 1 件  
平成 20 年度 故障 1 件  
平成 21 年度 故障 1 件

② 品川清掃工場

- ・事故件数：年 1、2 回、コンベアの詰まりや火格子下の詰まり
- ・住民補償：規定はない。行われたことはない。

(4) 焼却対象ごみ

- ・数量と組成(廃プラは含んでいるか。)
- ・有害異物管理について何か実施しているか。(最近の水銀問題に関連して)

① 多摩川清掃工場

- ・数量：平成 21 年度 73,877. 5 トン
- ・組成：環境報告書参照、(廃プラ約 15%)

② 品川清掃工場

- ・数量：平成 21 年度 159,670 トン
- ・組成：環境報告書参照、(廃プラ約 15%)

(5) 車両台数：一日に入退場する業務車両

(関係車両は何台か。構内や周辺公道における渋滞はあるか。)

① 多摩川清掃工場

平成 21 年度

- ・台数：ごみ搬入車 1日平均約210台（約110台～280台）  
灰搬出車両 1日平均約3台（3台～12台）
- ・渋滞：特になし

② 品川清掃工場

平成21年度

- ・台数：ごみ搬入車 1日平均約500台  
灰搬出車両 1日平均約10台
- ・渋滞：特になし

(6) 炉の稼働

- ・炉の稼働率(号機別に1年のうち何日運転しているか。)  
(各炉の年間運転実績)
- ・通常、炉をどうまわして運転しているか。
- ・突発的な事故にはどう対応しているのか。(例えば、メンテ業者の体制とか)

① 多摩川清掃工場

平成21年度

- ・日数：295日、稼働率：80.9%

② 品川清掃工場

平成21年度

- ・日数：285日、稼働率：77.8%
- ・突発事故：緊急連絡体制、予防保全の考え重視

(7) 発電について

- ・発電効率（投入全熱量の何%が利用されているか。）
- ・発電量と電力使用量の実績
- ・炉及び発電系統の事故による発電中止はあるか。

① 多摩川清掃工場

- ・発電効率：約15.9%

平成21年度

- ・発電電力量：34,334,760KWh
- ・使用電力量：24,844,047KWh
- ・事故の発電中止：なし

② 品川清掃工場

- ・発電効率：約15.9%

平成21年度

- ・発電電力量：57,187,220KWh
- ・使用電力量：37,787,301KWh
- ・事故の発電中止：炉の事故停止によるタービン発電機の停止

(8) ごみ減量

- ・組合、住民で取り組んでいるプロジェクトはあるか。

① 多摩川清掃工場

環境フェア、清掃工場展、ポール時計設置、周辺清掃、地元保育園との交流  
収集・運搬、分別リサイクルは各区事項

② 品川清掃工場

品川区消費生活展への参加

6 当日質問・回答について

(1) 多摩川清掃工場

① 質問：排ガス濃度計の位置はどこか

回答：煙突入り口の他に集塵機出口に設置

② 質問：二十三区一部事務組合清掃工場で水銀による炉停止があったがこの工場はどうだったか。水銀の計測はどのようにしているか。

回答：そういうことはなかった。計測は、連続分析を行っている。

③ 質問：ペーパーでの情報開示あるか。

回答：杉並で電光掲示板の横の箱に設置した例があるが、今は、当施設も含めホームページで開示している。要望があれば、閲覧資料を貸し出しする。

④ 質問：回転式ストーカは初めて見たが、他に例があるか。

回答：本工場は、回転ストーカを二重構造にして燃焼空気を通し、内側の水管（水冷）を回転している。この方式は、二十三区にはないが、全国的にはある。

(2) 品川清掃工場

① 質問：排ガス濃度計の位置はどこか

回答：煙突入り口の他に集塵機出口に設置

③ 質問：耐火レンガの交換回数は

回答：点検は半年に1回するが、交換の必要があれば1年に1回のオーバーホールのときに換える。

③ 質問：施設見学中にごみの臭いがしたが、どうなっているのか。

回答：通常、臭いの原因となるごみピットの空気は、ごみ燃焼空気として臭いの成分を分解・脱臭し排ガスとして屋外排気するが、現在、稼働停止しているので、脱臭装置を経由して臭突から屋外排気している。現在5年目なので装置の性能が低下したかもしれない。

④ 質問：煙突の外筒をパイプ格子にした理由は

回答：景観やデザインを重視した結果、このような形になりました。また、海に近いので塩害に強い材料を使用しています。